

■教員向けアンケート調査項目_教員用（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校）

問No.	分類	項目	内容
1	先生御自身について (大問8)	性別をお答えください。	選択肢 男性、女性、回答しない
2		年齢をお答えください。	選択肢 20代、30代、40代、50代、60代以上
3		勤務学校種をお答えください。	選択肢 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校（小学部）、特別支援学校（中学部）、特別支援学校（高等部）
4		勤務地域をお答えください。	選択肢 南佐久郡・佐久市・小諸市・北佐久郡・東御市・小県郡・上田市・岡谷市・諏訪市・茅野市・諏訪郡・上伊那郡・伊那市・駒ヶ根市、下伊那郡・飯田市、木曽郡、塩尻市・東筑摩郡、安曇野市、北安曇郡・大町市、埴科郡・千曲市、上高井郡・須坂市、下高井郡・中野市、下水内郡・飯山市、長野市・上水内郡、松本市
5		学校規模をお答えください。	選択肢 11学級以下、12学級～18学級、19学級以上
6		勤続年数をお答えください。	選択肢 5年未満、5年以上～10年未満、10年以上～20年未満、20年以上～30年未満、30年以上～40年未満、40年以上
7		職をお答えください。 (※授業をお持ちの方が対象となります。)	選択肢 講師、教諭
8		あなたにとって、教員になる際に以下のことはどのくらい重要でしたか。	(1)～(5)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：全く重要ではない、2：あまり重要ではない、3：ある程度重要、4：非常に重要 (1)継続的なキャリアアップの機会が得られること (2)確実な収入が得られること☑ (3)私生活に支障をきたさない勤務スケジュールであること (4)子どもや若者の成長に影響を与えられるということ☑ (5)社会に貢献できるということ
9	現在の仕事について (大問3)	直近の「通常の一週間」において、あなたに求められている仕事に、合計でおよそ何時間（1時間＝60分換算）従事しましたか。	指導（授業）、授業準備、採点、他の教員との共同作業、職員会議や教員研修への参加、その他の仕事に費やした時間を含みます。また、週末や夜間など就業時間外に行った仕事も含みます。 「通常の一週間」とは、休暇や休日、病気休業などによって勤務時間が短くならなかった一週間のことを指します。 四捨五入して時間単位で数字を記入してください。 <input type="checkbox"/> 合計時間
10		この合計のうち、直近の「通常の一週間」において、およそ何時間（1時間＝45分、50分等の授業時間）授業をしましたか。	実際の授業時間を記入してください。授業準備や採点、教員研修などに費やした時間については、次の質問でお尋ねします。 <input type="checkbox"/> 時間
11		直近の「通常の一週間」において、あなたは、以下の仕事に合計でおよそ何時間（1時間＝60分換算）従事しましたか。	週末や夜間など就業時間外に行った仕事を含みます。授業時間については前の質問でお尋ねしていますので、その時間は全て除外してください。 およその値で結構です。以下の仕事に従事しなかった場合は、0（ゼロ）を記入してください。 四捨五入して時間単位で数字を記入してください (1) <input type="checkbox"/> 時間 学校内外で個人で行う授業の計画や準備 (2) <input type="checkbox"/> 時間 学校内での同僚との共同作業や話し合い (3) <input type="checkbox"/> 時間 児童生徒の課題の採点や添削 (4) <input type="checkbox"/> 時間 児童生徒に対する教育相談（例：監督指導、インターネットによるカウンセリング、進路指導、非行防止指導） (5) <input type="checkbox"/> 時間 学校運営業務への参画 (6) <input type="checkbox"/> 時間 一般的な事務業務（教員として行う連絡事務、書類作成その他の事務業務を含む） (7) <input type="checkbox"/> 時間 教員研修 (8) <input type="checkbox"/> 時間 保護者との連絡や連携 (9) <input type="checkbox"/> 時間 課外活動の指導（例：放課後の部活動など） (10) <input type="checkbox"/> 時間 その他の業務
12	教員研修について (大問2)	以下の各領域について、それぞれどの程度教員研修の必要性を感じていますか。	(1)～(16)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：全く感じていない、2：あまり感じていない、3：ある程度感じている、4：強く感じている (1)担当教科等の分野に関する知識と理解 (2)担当教科等の分野の指導法に関する能力 (3)カリキュラムに関する知識 (4)教育課程研究協議会等における授業研究・授業参観による授業力向上 (5)児童の評価方法 (6)指導用のICT（情報通信技術）技能 (7)児童の行動と学級経営 (8)個に応じた学習手法 (9)特別な支援を要する児童への指導 (10)多文化又は多言語環境における指導 (11)教科横断的なスキルの指導（例：創造性、批判的思考力、問題解決能力） (12)教員と保護者間の協力 (13)教員同士の連携 (14)教員と専門職の連携（スクールカウンセラー等） (15)学校と地域の連携 (16)フリースクール等多様な学びの機関との連携
13		教員研修にあなたが参加する際、以下のことがどの程度妨げになると感じますか。	(1)～(7)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：全く妨げにならない、2：妨げにならない、3：妨げになる、4：非常に妨げになる (1)参加要件を満たしていない（例：資格、経験、勤務年数） (2)研修費用が高すぎる (3)雇用者からの支援が不足している (4)研修日程が自分の仕事のスケジュールと合わない (5)家庭でやらなくてはならないことがあるため、時間が割けない (6)自分に適した研修がない (7)研修に参加するインセンティブ（例：奨励金）がない

■教員向けアンケート調査項目_教員用（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校）

問No.	分類	項目	内容
14	指導について (大問1)	以下のことは、平均してどのくらいの頻度で行われていますか。	(1)～(7)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：行っていない、2：年に1回、3：年に2～4回、4：年に5～10回、5：月に1～3回、6：週に1回以上 (1)学級内でチーム・ティーチングを行う (2)他の教員の授業を見学し、感想を述べる (3)学級や学年をまたいだ合同学習を行う（例：プロジェクト） (4)同僚と教材をやりとりする (5)特定の児童生徒の学習の向上について議論する (6)他の教員と共同して、児童生徒の学習の進捗状況を評価する基準を定める (7)専門性を高めるための勉強会に参加する
15	仕事の満足度について (大問4)	あなたの学校の業務に関して以下のことはどの程度ストレスに感じますか。	(1)～(10)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：全く感じない、2：感じない、3：感じる、4：かなり感じる (1)多大な授業準備があること (2)授業の数が多すぎる (3)採点業務が多すぎる (4)事務的な業務が多すぎる（例：書類への記入） (5)教員の欠勤による追加的な業務があること (6)児童生徒の学力に対して責任を負っていること (7)学級の規律を保つこと (8)児童生徒から脅されたり暴言を受けたりすること (9)国、地方自治体からの要求の変化に対応すること (10)保護者の懸念に対処すること
16		仕事全般について以下のことはどの程度当てはまりますか。	(1)～(6)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：全く当てはまらない、2：当てはまらない、3：当てはまる、4：非常に良く当てはまる (1)もう一度仕事を選べるとしたら、また教員になりたい (2)教員になったことを後悔している (3)現在の学校での仕事を楽しんでいる (4)現在の学校での自分の仕事の成果に満足している (5)教職は社会的に高く評価されていると思う (6)全体としてみれば、この仕事に満足している
17		以下のことはどの程度当てはまりますか。	(1)～(3)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：全く当てはまらない、2：当てはまらない、3：当てはまる、4：非常に良く当てはまる (1)職務に対して支払われる給与に満足している (2)給与以外の教員としての雇用条件に満足している（例：福利厚生、勤務時間） (3)特別な条件に対する各種手当に満足している（例：へき地手当等）
18	その他 (大問3)	学校教育全体のことについてお尋ねします。もし予算が5%増加するとしたら、以下の支出を優先させることはどの程度重要だと思いますか。	(1)～(11)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：重要ではない、2：あまり重要ではない、3：やや重要である、4：重要である (1)ICTへの投資 (2)指導用教材への投資（例：副読本、問題集） (3)条件の不利な児童生徒や移民の背景を持つ児童生徒への支援 (4)教職員の増員による学級規模の縮小 (5)学校の施設設備の充実 (6)特別な支援を要する児童生徒の支援 (7)教員への高水準の職能開発プログラムの提供 (8)教員の給与増額 (9)補助的な職員の増員による、教員の事務的な業務の軽減 (10)補助的な職員の増員による、個に応じた学びの推進 (11)地理的条件や特定の業務に関する給与手当等のインセンティブ付与
19		第4次長野県教育振興基本計画でめざしている「個人と社会のウェルビーイング [※] の実現」に向け、以下のことはどの程度重要だと思いますか。 ※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること	(1)～(14)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：重要ではない、2：あまり重要ではない、3：やや重要である、4：重要である (1)デジタルの力を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 (2)学習者主体の学校づくりに向けた魅力化・特色化 (3)探究を核とした学びを推進するための教員自らが学ぶ研修の充実、教職員の資質向上 (4)教員のウェルビーイング向上のための働き方改革 (5)これからの時代に向けた高校改革・学びの改革の推進 (6)信州教育の魅力向上・発信 (7)子どもの権利・安全の保障 (8)多様な学びの場・機会の充実や民間との連携による個別最適化 (9)インクルーシブな教育の一層の推進 (10)一人ひとりの特性に応じた学びの追求 (11)福祉分野等との連携による困難や悩みを抱える子どもへの支援 (12)共学共創による地域づくり (13)生涯を通じて学ぶことができる環境づくり (14)文化芸術、スポーツに親しむことができる機会を充実
20		2050年の長野県の総人口は2020年の約77%の159万人、高齢化率40%以上と推計され [※] 、子どもの数の更なる減少が見込まれる中、学校の将来像や教員の働き方、教育のあり方に関するお考えについてご自由にお書きください。 ※出典：「国勢調査」（総務省統計局）、「日本の将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所）	(自由記述回答)
21	その他ご意見等ございましたらご自由にお書きください。	(自由記述回答)	

■教員向けアンケート調査項目_管理職用（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校）

問No.	分類	項目	内容
1	先生御自身について (大問6)	性別をお答えください。	選択肢 男性、女性、回答しない
2		年齢をお答えください。	選択肢 40代、50代、60代以上
3		勤務学校種をお答えください。	選択肢 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校（小学部）、特別支援学校（中学部）、特別支援学校（高等部）
4		勤務地域をお答えください。	選択肢 南佐久郡・佐久市・小諸市・北佐久郡、東御市・小県郡・上田市、岡谷市・諏訪市・茅野市・諏訪郡、上伊那郡・伊那市・駒ヶ根市、下伊那郡・飯田市、木曽郡、塩尻市・東筑摩郡、安曇野市、北安曇郡・大町市、埴科郡・千曲市、上高井郡・須坂市、下高井郡・中野市、下水内郡・飯山市、長野市・上水内郡、松本市
5		学校規模をお答えください。	選択肢 11学級以下、12学級～18学級、19学級以上
6		職をお答えください。	選択肢 校長、副校長、教頭
7	教員研修について (大問3)	過去12か月の間に、管理職向けの研修に参加しましたか。	該当するものすべてにチェックをつけてください。 (1)教科の内容、指導法、教育に関するコースやセミナー (2)リーダーシップに関するコースやセミナー (3)対面式の講座やセミナー (4)オンライン上の講座やセミナー (5)教員、校長や研究者による研究発表、教育問題に関する議論をする会議 (6)公式な資格習得プログラム（例：学位課程） (7)公式な取り組みである同僚の観察・助言又は自己観察、コーチング活動 (8)管理職の職業能力開発を目的とする研究グループへの参加 (9)専門的な文書や書物を読むこと (10)その他
8		以下の各領域について、それぞれの程度研修の必要性を感じていますか。	(1)～(16)のそれぞれについて、当てはまる数字を選択してください。 1：全く感じていない、2：あまり感じていない、3：ある程度感じている、4：強く感じている (1)リーダーシップに関する新しい研究や理論についての知識や理解 (2)現在の国や地方自治体の教育政策についての知識や理解 (3)学校の質を向上するためのデータの活用 (4)学校の教育課程の編成 (5)教員向け、教員又は教員と共に行う教員研修の計画 (6)授業実践の観察 (7)教育課程研究協議会等における授業研究 (8)公平さと多様性の促進 (9)教員間の連携の向上 (10)人事管理 (11)財務管理 (12)地域との連携・協働の進め方 (13)探究や多様な学びの推進方法 (14)働き方改革・業務改善 (15)外部人材との連携・協働 (16)子どもの学習権保障
9		研修にあなたが参加する際、以下のことがどの程度妨げになると思いますか。	(1)～(7)のそれぞれについて当てはまる数字をお答えください。 1：全く妨げにならない、2：妨げにならない、3：妨げになる、4：非常に妨げになる (1)参加要件を満たしていない（例：資格、経験、勤務年数） (2)研修費用が高すぎる (3)雇用者からの支援が不足している (4)研修日程が自分の仕事のスケジュールと合わない (5)家庭でやらなくてはならないことがあるため、時間が割けない (6)自分に適した研修がない (7)研修に参加するインセンティブ（例：奨励金）がない
10	リーダーシップについて (大問1)	過去12か月の間に、あなたの学校では、以下のことをどのくらいの頻度で行いましたか。	(1)～(9)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：なし、2：時々、3：頻繁に、4：非常に頻繁に (1)学級内の規律の問題を教員と協力して解決した (2)授業を観察した (3)観察した内容に基づいて教員にフィードバックを行った (4)新たな指導実践を開発するための教員間の協力を支援する取組を行った (5)保護者に学校と児童生徒の成果についての情報を提供した (6)働き方改革・業務改善について具体的な取り組みを行った (7)困難を感じている業務について他校の校長と協働した (8)この学校での研修計画の策定に関わった (9)地域や外部と連携した教育活動を実施した

■教員向けアンケート調査項目_管理職用（小学校・中学校・義務教育学校・特別支援学校）

問No.	分類	項目	内容
11	学校運営について (大問1)	あなたの学校では、現在、質の高い指導を行う上で、以下のことがどの程度妨げになっていますか。	<p>(1)～(18)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：全く妨げになっていない、2：いくらか妨げになっている、3：かなり妨げになっている、4：非常に妨げになっている</p> <p>(1)資格を持つ教員の不足 (2)特別な支援を要する児童生徒への指導能力を持つ教員の不足 (3)職業教育を行う教員の不足 (4)教材が不足している、あるいは適切でない (5)指導のためのデジタル技術が不足している、あるいは適切でない（例：ソフトウェア、コンピュータ、タブレット、電子黒板） (6)インターネット接続環境が不十分である (7)図書館の教材が不足している、あるいは適切でない (8)支援職員の不足 (9)指導のための場所が不足している、あるいは適切でない（例：教室） (10)物理的な施設設備が不足している、あるいは適切でない（例：学校家具、校舎、空調機、照明器具） (11)多言語又は多文化の環境で、児童生徒を指導する能力を持つ教員の不足 (12)社会経済的に困難な家庭環境にある児童生徒を指導する能力を持つ教員の不足 (13)職業能力を訓練するために必要な教材が不足している、あるいは適切でない (14)教育的リーダーシップを発揮する時間が不足している、あるいは適切でない (15)教員が児童生徒と過ごす時間が不足している、あるいは適切でない (16)教員の時間的・精神的余白や余裕の不足 (17)ミドルリーダー等学校組織の中核となりうる教員が配置されていない、あるいは年齢構成が適切ではない (18)地理的条件や特定の業務に対して教員のインセンティブ（手当等）が不足している、あるいは適切ではない</p>
12		あなたの学校での業務に関して、以下のことはどの程度ストレスに感じますか。	<p>(1)～(8)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：全く感じない、2：感じない、3：感じる、4：かなり感じる</p> <p>(1)教員の評価やフィードバックなどの業務が多すぎる (2)事務的な業務が多すぎる（例：書類への記入） (3)教職員の欠勤による追加的な業務がある (4)児童生徒の学力に対して責任を負っていること (5)学校の規律を保つこと (6)生徒から脅迫されたり暴言を受けたりすること (7)国、地方自治体からの要求の変化に対応すること (8)保護者の懸念に対処すること</p>
13	仕事の満足度について (大問3)	あなたが仕事全般についてどのように感じているかをお尋ねします。以下のことはどの程度当てはまりますか。	<p>(1)～(6)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：全く当てはまらない、2：当てはまらない、3：当てはまる、4：よく当てはまる</p> <p>(1)もう一度仕事を選べるとしたら、また校長（副校長・教頭）になりたい (2)校長（副校長・教頭）になったことを後悔している (3)現在の学校での仕事を楽しんでいる (4)現在の学校での自分の仕事の成果に満足している (5)教職は社会的に高く評価されていると思う (6)全体としてみれば、この仕事に満足している</p>
14		以下のことはどの程度当てはまりますか。	<p>(1)～(5)のそれぞれについて当てはまる数字をお答えください 1：全く当てはまらない、2：当てはまらない、3：当てはまる、4：よく当てはまる</p> <p>(1)職務に対して支払われる給与に満足している (2)給与以外の校長（副校長・教頭）としての雇用条件に満足している（例：福利厚生、勤務時間） (3)この学校の教職員から受ける支援に対して満足している (4)国、地方自治体から、より多くの支援が必要である（地理的条件や特定の業務に関する給与手当等） (5)国、地方自治体から、より多くの支援が必要である（支援員・教材の付与や施設の修繕費など）</p>
15	その他 (大問3)	第4次長野県教育振興基本計画でめざしている「個人と社会のウェルビーイング [※] の実現」に向け、以下のことはどの程度重要だと思いますか。 ※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること	<p>(1)～(14)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：重要ではない、2：あまり重要ではない、3：やや重要である、4：重要である</p> <p>(1)デジタルの力を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 (2)学習者主体の学校づくりに向けた魅力化・特色化 (3)探究を核とした学びを推進するための教員自らが学ぶ研修の充実、教職員の資質向上 (4)教員のウェルビーイング向上のための働き方改革 (5)これからの時代に向けた高校改革・学びの改革の推進 (6)信州教育の魅力向上・発信 (7)子どもの権利・安全の保障 (8)多様な学びの場・機会の充実や民間との連携による個別最適化 (9)インクルーシブな教育の一層の推進 (10)一人ひとりの特性に応じた学びの追求 (11)福祉分野等との連携による困難や悩みを抱える子どもへの支援 (12)共学共創による地域づくり (13)生涯を通じて学ぶことができる環境づくり (14)文化芸術、スポーツに親しむことができる機会を充実</p>
16		2050年の長野県の総人口は2020年の約77%の159万人、高齢化率40%以上と推計され [※] 、子どもの数の更なる減少が見込まれる中、学校の将来像や教員の働き方、教育のあり方に関するお考えについてご自由にお書きください。 ※出典：「国勢調査」（総務省統計局）、「日本の将来推計人口」（国立社会保障・人口問題研究所）	(自由記述回答)
17		その他ご意見等ございましたらご自由にお書きください。	(自由記述回答)

■教員向けアンケート調査項目_教員用（高等学校）

問No.	分類	項目	内容
1	先生御自身について (大問8)	性別をお答えください。	選択肢 男性、女性、回答しない
2		年齢をお答えください。	選択肢 10代、20代、30代、40代、50代、60代以上
3		勤務学校種をお答えください。	選択肢 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校（小学部）、特別支援学校（中学部）、特別支援学校（高等部）
4		勤務地域をお答えください。	選択肢 北信、東信、南信、中信
5		学校規模をお答えください。	選択肢 11学級以下、12学級～18学級、19学級以上
6		勤続年数をお答えください。	選択肢 5年未満、5年以上～10年未満、10年以上～20年未満、20年以上～30年未満、30年以上～40年未満、40年以上
7		職をお答えください。 (※授業をお持ちの方が対象となります。)	選択肢 講師、教諭、実習教員
8		あなたにとって、教員になる際に以下のことはどのくらい重要でしたか。	(1)～(5)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：全く重要ではない、2：あまり重要ではない、3：ある程度重要、4：非常に重要 (1)継続的なキャリアアップの機会が得られること (2)確実な収入が得られること☑ (3)私生活に支障をきたさない勤務スケジュールであること (4)子どもや若者の成長に影響を与えられるということ☑ (5)社会に貢献できるということ
9	現在の仕事について (大問3)	直近の「通常の一週間」において、あなたに求められている仕事に、合計でおよそ何時間（1時間＝60分換算）従事しましたか。	指導（授業）、授業準備、採点、他の教員との共同作業、職員会議や教員研修への参加、その他の仕事に費やした時間を含みます。また、週末や夜間など就業時間外に行った仕事も含みます。 「通常の一週間」とは、休暇や休日、病気休業などによって勤務時間が短くなかなか一週間のことを指します。 四捨五入して時間単位で数字を記入してください。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 合計時間
10		この合計のうち、直近の「通常の一週間」において、およそ何時間（1時間＝45分、50分等の授業時間）授業をしましたか。	実際の授業時間を記入してください。授業準備や採点、教員研修などに費やした時間については、次の質問でお尋ねします。 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時間
11		直近の「通常の一週間」において、あなたは、以下の仕事に合計でおよそ何時間（1時間＝60分換算）従事しましたか。	週末や夜間など就業時間外に行った仕事を含みます。授業時間については前の質問でお尋ねしていますので、その時間は全て除外してください。 およその値で結構です。以下の仕事に従事しなかった場合は、0（ゼロ）を記入してください。 四捨五入して時間単位で数字を記入してください (1) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時間 学校内外で個人で行う授業の計画や準備 (2) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時間 学校内での同僚との共同作業や話し合い (3) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時間 児童生徒の課題の採点や添削 (4) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時間 児童生徒に対する教育相談（例：監督指導、インターネットによるカウンセリング、進路指導、非行防止指導） (5) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時間 学校運営に係る業務への参画 (6) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時間 教員として行う連絡事務、書類作成その他の事務業務 (7) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時間 教員研修 (8) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時間 保護者との連絡や連携 (9) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時間 課外活動の指導（例：放課後の部活動など） (10) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 時間 その他の業務
12	教員研修について (大問2)	以下の各領域について、それぞれの程度教員研修の必要性を感じていますか。	(1)～(16)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：全く感じていない、2：あまり感じていない、3：ある程度感じている、4：強く感じている (1)担当教科等の分野に関する知識と理解 (2)担当教科等の分野の指導法に関する能力 (3)カリキュラムに関する知識 (4)教育課程研究協議会等における授業研究・授業参観による授業力向上 (5)児童生徒の評価方法 (6)指導用のICT（情報通信技術）技能 (7)児童生徒の行動と学級経営 (8)個に応じた学習手法 (9)特別な支援を要する児童生徒への指導 (10)多文化又は多言語環境における指導 (11)教科横断的なスキルの指導（例：創造性、批判的思考力、問題解決能力） (12)教員と保護者間の協力 (13)教員同士の連携 (14)教員と専門職の連携（スクールカウンセラー等） (15)学校と地域の連携 (16)フリースクール等多様な学びの機関との連携
13		教員研修にあなたが参加する際、以下のことがどの程度妨げになると感じますか。	(1)～(7)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：全く妨げにならない、2：妨げにならない、3：妨げになる、4：非常に妨げになる (1)参加要件を満たしていない（例：資格、経験、勤務年数） (2)研修費用が高すぎる (3)雇用者からの支援が不足している (4)研修日程が自分の仕事のスケジュールと合わない (5)家庭でやらなくてはならないことがあるため、時間が割けない (6)自分に適した研修がない (7)研修に参加するインセンティブ（例：奨励金）がない

■教員向けアンケート調査項目_教員用（高等学校）

問No.	分類	項目	内容
14	指導について (大問1)	以下のことは、平均してどのくらいの頻度で行われていますか。	(1)～(7)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：行っていない、2：年に1回、3：年に2～4回、4：年に5～10回、5：月に1～3回、6：週に1回以上 (1)学級内でチーム・ティーチングを行う (2)他の教員の授業を見学し、感想を述べる (3)学級や学年をまたいだ合同学習を行う(例：プロジェクト) (4)同僚と教材をやりとりする (5)特定の児童生徒の学習の向上について議論する (6)他の教員と共同して、児童生徒の学習の進捗状況を評価する基準を定める (7)専門性を高めるための勉強会に参加する
15	仕事の満足度について (大問4)	あなたの学校の業務に関して以下のことはどの程度ストレスに感じますか。	(1)～(10)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：全く感じない、2：感じない、3：感じる、4：かなり感じる (1)多大な授業準備があること (2)授業の数が多すぎること (3)採点業務が多すぎること (4)事務的な業務が多すぎること(例：書類への記入) (5)同僚の不在等による追加的な業務があること (6)児童生徒の学力に対して責任を負っていること (7)学級の規律を保つこと (8)児童生徒から脅されたり暴言を受けたりすること (9)国、地方自治体からの要求の変化に対応すること (10)保護者の懸念に対処すること
16		仕事全般について以下のことはどの程度当てはまりますか。	(1)～(6)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：全く当てはまらない、2：当てはまらない、3：当てはまる、4：非常に良く当てはまる (1)もう一度仕事を選べるとしたら、また教員になりたい (2)教員になったことを後悔している (3)現在の学校での仕事を楽しんでいる (4)現在の学校での自分の仕事の成果に満足している (5)教職は社会的に高く評価されていると思う (6)全体としてみれば、この仕事に満足している
17		以下のことはどの程度当てはまりますか。	(1)～(3)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：全く当てはまらない、2：当てはまらない、3：当てはまる、4：非常に良く当てはまる (1)職務に対して支払われる給与に満足している (2)給与以外の教員としての雇用条件に満足している(例：福利厚生、勤務時間) (3)特別な条件に対する各種手当に満足している(例：産業教育手当、定時制通信教育手当、特殊勤務手当等)
18		学校教育全体のことについてお尋ねします。もし予算が5%増加するとしたら、以下の支出を優先させることはどの程度重要だと思いますか。	(1)～(11)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：重要ではない、2：あまり重要ではない、3：やや重要である、4：重要である (1)ICTへの投資 (2)指導用教材への投資(例：副読本、問題集) (3)条件の不利な児童生徒や外国籍の児童生徒への支援 (4)教職員の増員による学級規模の縮小 (5)学校の施設設備の充実 (6)特別な支援を要する児童生徒の支援 (7)教員への高水準の職能開発プログラムの提供 (8)教員の給与増額 (9)補助的な職員の増員による、教員の事務的な業務の軽減 (10)補助的な職員の増員による、個に応じた学びの推進 (11)地理的条件や特定の業務に関する給与手当等のインセンティブ付与
19	その他 (大問3)	第4次長野県教育振興基本計画でめざしている「個人と社会のウェルビーイング [※] の実現」に向け、以下のことはどの程度重要だと思いますか。 ※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること	(1)～(14)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：重要ではない、2：あまり重要ではない、3：やや重要である、4：重要である (1)デジタルの力を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 (2)学習者主体の学校づくりに向けた魅力化・特色化 (3)探究を核とした学びを推進するための教員自らが学ぶ研修の充実、教職員の資質向上 (4)教員のウェルビーイング向上のための働き方改革 (5)これからの時代に向けた高校改革・学びの改革の推進 (6)信州教育の魅力向上・発信 (7)子どもの権利・安全の保障 (8)多様な学びの場・機会の充実や民間との連携による個別最適化 (9)インクルーシブな教育の一層の推進 (10)一人ひとりの特性に応じた学びの追求 (11)福祉分野等との連携による困難や悩みを抱える子どもへの支援 (12)共学共創による地域づくり (13)生涯を通じて学ぶことができる環境づくり (14)文化芸術、スポーツに親しむことができる機会を充実
20		2050年の長野県の総人口は2020年の約77%の159万人、高齢化率40%以上と推計され [※] 、子どもの数の更なる減少が見込まれる中、学校の将来像や教員の働き方、教育のあり方に関するお考えについてご自由にお書きください。 ※出典：「国勢調査」(総務省統計局)、「日本の将来推計人口」(国立社会保障・人口問題研究所)	(自由記述回答)
21		その他ご意見等ございましたらご自由にお書きください。	(自由記述回答)

■教員向けアンケート調査項目_管理職用(高等学校)

問No.	分類	項目	内容
1	先生御自身について (大問6)	性別をお答えください。	選択肢 男性、女性、回答しない
2		年齢をお答えください。	選択肢 40代、50代、60代以上
3		勤務学校種をお答えください。	選択肢 小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、特別支援学校(小学部)、特別支援学校(中学部)、特別支援学校(高等部)
4		勤務地域をお答えください。	選択肢 北信、東信、南信、中信
5		学校規模をお答えください。	選択肢 11学級以下、12学級～18学級、19学級以上
6		職をお答えください。	選択肢 校長、副校長、教頭
7	教員研修について (大問3)	過去12か月の間に、管理職向けの研修に参加しましたか。	該当するものすべてにチェックをつけてください。 (1)教科の内容、指導法、教育に関するコースやセミナー (2)リーダーシップに関するコースやセミナー (3)対面式の講座やセミナー (4)オンライン上の講座やセミナー (5)教員、校長や研究者による研究発表、教育問題に関する議論をする会議 (6)公式な資格習得プログラム(例:学位課程) (7)公式な取り組みである同僚の観察・助言又は自己観察、コーチング活動 (8)管理職の職業能力開発を目的とする研究グループへの参加 (9)専門的な文書や書物を読むこと (10)その他
8		以下の各領域について、それぞれの程度研修の必要性を感じていますか。	(1)～(16)のそれぞれについて、当てはまる数字を選択してください。 1:全く感じていない、2:あまり感じていない、3:ある程度感じている、4:強く感じている (1)リーダーシップに関する新しい研究や理論についての知識や理解 (2)現在の国や地方自治体の教育政策についての知識や理解 (3)学校の質を向上するためのデータの活用 (4)学校の教育課程の編成 (5)教員向け、教員又は教員と共に行う教員研修の計画 (6)授業実践の観察 (7)教育課程研究協議会等における授業研究 (8)公平さと多様性の促進 (9)教員間の連携の向上 (10)人事管理 (11)財務管理 (12)地域との連携・協働の進め方 (13)探究や多様な学びの推進方法 (14)働き方改革・業務改善 (15)外部人材との連携・協働 (16)子どもの学習権保障
9		研修にあなたが参加する際、以下のことがどの程度妨げになると感じますか。	(1)～(7)のそれぞれについて当てはまる数字をお答えください。 1:全く妨げにならない、2:妨げにならない、3:妨げになる、4:非常に妨げになる (1)参加要件を満たしていない(例:資格、経験、勤務年数) (2)研修費用が高すぎる (3)雇用者からの支援が不足している (4)研修日程が自分の仕事のスケジュールと合わない (5)家庭でやらなくてはならないことがあるため、時間が割けない (6)自分に適した研修がない (7)研修に参加するインセンティブ(例:奨励金)がない
10	リーダーシップについて (大問1)	過去12か月の間に、あなたの学校では、以下のことをどのくらいの頻度で行いましたか。	(1)～(9)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1:なし、2:時々、3:頻繁に、4:非常に頻繁に (1)学級内の規律の問題を教員と協力して解決した (2)授業を観察した (3)観察した内容に基づいて教員にフィードバックを行った (4)新たな指導実践を開発するための教員間の協力を支援する取組を行った (5)保護者に学校と児童生徒の成果についての情報を提供した (6)働き方改革・業務改善について具体的な取り組みを行った (7)困難を感じている業務について他校の校長と協働した (8)この学校での研修計画の策定に関わった (9)地域や外部と連携した教育活動を実施した

■教員向けアンケート調査項目_管理職用(高等学校)

問No.	分類	項目	内容
11	学校運営について (大問1)	あなたの学校では、現在、質の高い指導を行う上で、以下のことがどの程度妨げになっていますか。	<p>(1)～(18)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：全く妨げになっていない、2：いくらか妨げになっている、3：かなり妨げになっている、4：非常に妨げになっている</p> <p>(1)資格を持つ教員の不足 (2)特別な支援を要する児童生徒への指導能力を持つ教員の不足 (3)職業教育を行う教員の不足 (4)教材が不足している、あるいは適切でない (5)指導のためのデジタル技術が不足している、あるいは適切でない(例：ソフトウェア、コンピュータ、タブレット、電子黒板) (6)インターネット接続環境が不十分である (7)図書館の教材が不足している、あるいは適切でない (8)支援職員の不足 (9)指導のための場所が不足している、あるいは適切でない(例：教室) (10)物理的な施設設備が不足している、あるいは適切でない(例：学校家具、校舎、空調機、照明器具) (11)多言語又は多文化の環境で、児童生徒を指導する能力を持つ教員の不足 (12)社会経済的に困難な家庭環境にある児童生徒を指導する能力を持つ教員の不足 (13)職業能力を訓練するために必要な教材が不足している、あるいは適切でない (14)教育的リーダーシップを発揮する時間が不足している、あるいは適切でない (15)教員が児童生徒と過ごす時間が不足している、あるいは適切でない (16)教員の時間的・精神的余白や余裕の不足 (17)ミドルリーダー等学校組織の中核となりうる教員が配置されていない、あるいは年齢構成が適切ではない (18)地理的条件や特定の業務に対して教員のインセンティブ(手当等)が不足している、あるいは適切ではない</p>
12		あなたの学校での業務に関して、以下のことはどの程度ストレスに感じますか。	<p>(1)～(8)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：全く感じない、2：感じない、3：感じる、4：かなり感じる</p> <p>(1)教員の評価やフィードバックなどの業務が多すぎる (2)事務的な業務が多すぎる(例：書類への記入) (3)教職員の不在等による追加的な業務がある (4)児童生徒の学力に対して責任を負っていること (5)学校の規律を保つこと (6)生徒から脅迫されたり暴言を受けたりすること (7)国、地方自治体からの要求の変化に対応すること (8)保護者の懸念に対処すること</p>
13	仕事の満足度について (大問3)	あなたが仕事全般についてどのように感じているかをお尋ねします。以下のことはどの程度当てはまりますか。	<p>(1)～(6)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：全く当てはまらない、2：当てはまらない、3：当てはまる、4：よく当てはまる</p> <p>(1)もう一度仕事を選べるとしたら、また校長(副校長・教頭)になりたい (2)校長(副校長・教頭)になったことを後悔している (3)現在の学校での仕事を楽しんでいる (4)現在の学校での自分の仕事の成果に満足している (5)教職は社会的に高く評価されていると思う (6)全体としてみれば、この仕事に満足している</p>
14		以下のことはどの程度当てはまりますか。	<p>(1)～(5)のそれぞれについて当てはまる数字をお答えください 1：全く当てはまらない、2：当てはまらない、3：当てはまる、4：よく当てはまる</p> <p>(1)職務に対して支払われる給与に満足している (2)給与以外の校長(副校長・教頭)としての雇用条件に満足している(例：福利厚生、勤務時間) (3)この学校の教職員から受ける支援に対して満足している (4)国、地方自治体から、より多くの支援が必要である(地理的条件や特定の業務に関する給与手当等) (5)国、地方自治体から、より多くの支援が必要である(支援員・教材の付与や施設の修繕費など)</p>
15	その他 (大問3)	第4次長野県教育振興基本計画でめざしている「個人と社会のウェルビーイング [※] の実現」に向け、以下のことはどの程度重要だと思いますか。 ※身体的・精神的・社会的に良い状態にあること	<p>(1)～(14)のそれぞれについて、当てはまる数字をお答えください。 1：重要ではない、2：あまり重要ではない、3：やや重要である、4：重要である</p> <p>(1)デジタルの力を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実 (2)学習者主体の学校づくりに向けた魅力化・特色化 (3)探究を核とした学びを推進するための教員自らが学ぶ研修の充実、教職員の資質向上 (4)教員のウェルビーイング向上のための働き方改革 (5)これからの時代に向けた高校改革・学びの改革の推進 (6)信州教育の魅力向上・発信 (7)子どもの権利・安全の保障 (8)多様な学びの場・機会の充実や民間との連携による個別最適化 (9)インクルーシブな教育の一層の推進 (10)一人ひとりの特性に応じた学びの追求 (11)福祉分野等との連携による困難や悩みを抱える子どもへの支援 (12)共学共創による地域づくり (13)生涯を通じて学ぶことができる環境づくり (14)文化芸術、スポーツに親しむことができる機会を充実</p>
16		2050年の長野県の総人口は2020年の約77%の159万人、高齢化率40%以上と推計され [※] 、子どもの数の更なる減少が見込まれる中、学校の将来像や教員の働き方、教育のあり方に関するお考えについてご自由にお書きください。 ※出典：「国勢調査」(総務省統計局)、「日本の将来推計人口」(国立社会保障・人口問題研究所)	(自由記述回答)
17		その他ご意見等ございましたらご自由にお書きください。	(自由記述回答)